オーディオ／共通

I-2 基本操作

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面とはCD／MP3／WMA／Radio／SD／iPod／TV／VTR／AUX☆ソース時を示します。
  ※iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。

☆印…MM312D-W／MM112-W

各ソースを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、I-3手順 **2** へ進んでください。

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたソースの画面になります。

※利用開始日登録画面が表示された場合は、登録操作を行なってください。

☞「ご使用の前に必ず行なってください」A-20

起動初期画面



CDソース画面（例）



CDソース選択中

⚠注意 「ACC」（エンジンを停止したまま）で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 **AV を押す。**

：AV SOURCE画面または前回最後に選択していたソース画面(OFF含む)が表示されます。前回のソース画面から他のソースに変えたい場合はもう一度 AV を押してAV SOURCE画面を表示させてください。

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は挿入または接続してください。
☞ I-4、O-3

アドバイス

✱ (オプション)にAVソース選択を設定している場合は、このボタンを押してAV SOURCE画面を表示させることができます。
☞「オプションボタンの設定をする」H-2

---

3 **操作したいソース(CD ／ Radio ／ SD ／ iPod ／ TV ／ VTR ★／ VTR／AUX ☆)をタッチする。**

★印…MM312D-A／MM112-A　☆印…MM312D-W／MM112-W

：選択したそれぞれのソース画面が表示されます。

※ご希望の操作を行なってください。☞ 2、3ページ

AV SOURCE画面(下記)に表示されるソースボタン(各機能)は型式によって異なります。また、各ボタンの詳細は☞ I-8を参照ください。

AV SOURCE画面

MM312D-A／MM112-A



MM312D-W／MM112-W



■ 操作したいソース画面が表示された場合

① ☞ 2、3ページに記載の項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。

※音楽再生をしていた場合は前回の続きから再生を始めます。

映像の表示について

> ⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

TVソース画面(走行中)(例)



ディスクを入れる/取り出す

1 ▲(OPEN)を押す。

：TILT/EJECT画面が表示されます。

---

2 ディスクを入れる/取り出す。

■ **ディスクを入れる場合**

① **OPEN をタッチする。**

：ディスプレイが開きます。

② **ディスク挿入口にディスクを挿入する。**

：自動でディスプレイが閉じ、再生を始めます。

TILT/EJECT画面



■ **ディスクを取り出す場合**

① **DISC EJECT をタッチする。**

：ディスプレイが開き、ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

※ディスプレイを閉じる場合は、▲(OPEN)を押してください。

アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の初めから再生が始まります。
- 再生中に車のキースイッチをACC「OFF」にした場合は、次にACCを「ON」にすると、前に再生していた続きから再生を始めます。
- TILT/EJECT画面で DISC EJECT をタッチして押し出されたディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。
- ディスクを取り出すとき、▲(OPEN)を長押しすると、DISC EJECT をタッチすることなく自動でディスクが押し出されます。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、自動的にディスプレイ部が閉じます。ディスクやSDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。

SDカードを入れる／取り出す

1 **［▲］(OPEN)を押す。**

：TILT／EJECT画面が表示されます。

2 **OPEN をタッチする。**

：ディスプレイが開きます。

3 **SDカードを入れる／取り出す。**

■ SDカードを入れる場合

① **SDカード挿入口にSDカードを差し込む。**

：自動でディスプレイが閉じます。

※SDソースを選択している場合は再生を始めます。

■ SDカードを取り出す場合

① **SDカードを1回押して取り出す。**

※ディスプレイを閉じる場合は、［▲］(OPEN)を押してください。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の初めから再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDソースを終了(AV電源をOFF)して取り出してください。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、自動的にディスプレイ部が閉じます。ディスクやSDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。

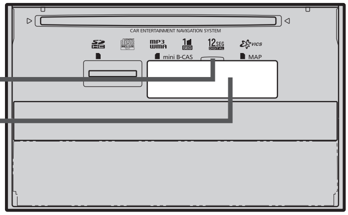
miniB-CASカードを入れる／取り出す MM312D-A／MM312D-W

⚠注意
- 本機には、ID(識別)番号の異なるminiB-CAS(ビーキャス)カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部に触れたり、汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりすると使用できなくなることがありますので、大切に取り扱ってください。
☞「miniB-CASカードについて」N-50

1 「SDカードを入れる／取り出す」I-5手順 **1** 、 **2** に従って操作する。

---

2 ツメ部分に指をかけて、カード挿入口カバーを開く。



---

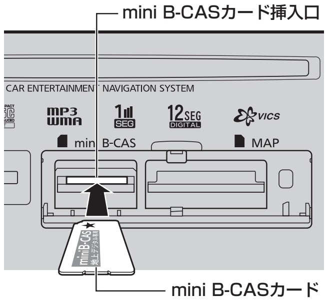
3 カードを入れる／取り出す。

※miniB-CASカードを出し入れするときは付属の「落下防止シート」を使用してください。

■ miniB-CASカードを入れる場合

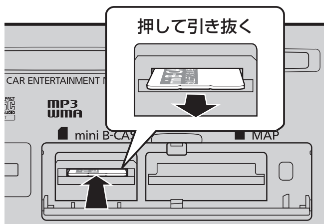
① miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入する。

※★の付いた面を上にし、⬆(矢印イラスト)の方向に"カチッ"と音がするまで挿入してください。



■ miniB-CASカードを取り出す場合

① miniB-CASカードを1回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。



4 カード挿入口カバーを閉じる。

5 [▲](OPEN)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

⚠注意
- miniB-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口(☞I-6)にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ロック状態(ロックスイッチ左側状態)でminiB-CASカードを取り出そうとすると、ロックスイッチが壊れる原因となります。必ずロックスイッチを右側へスライドさせてからminiB-CASカードを取り出してください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASテストを行なってください。
☞「miniB-CASカードのテストをする」N–39

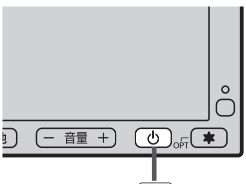
オーディオをOFFする

1 [⏻]／[PUSH AV OFF]を押す。

：画面に“OFF”と表示されオーディオの各ソースを終了します。
もう一度押すと、AV電源をONします。

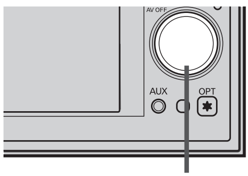
※前回、音楽を再生していた場合は続きから再生を始めます。

MM312D-A／MM112-A



[⏻]ボタン

MM312D-W／MM112-W



[PUSH AV OFF]ボタン

設定の保持について

[決定]のある画面では、[決定]をタッチすると設定が保持されます。
[決定]をタッチしないで[戻る]をタッチまたは[メニュー]／[現在地]を押すと設定は保持されません。
※[決定]のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
(例：映像／オーディオ調整など)

AV SOURCE画面のソースボタンについて

AV SOURCE画面

MM312D-A／MM112-A



MM312D-W／MM112-W



選択可能ソースはイラストおよび文字を表示



選択不可能ソースはイラストおよび文字が灰色表示



※SDカード未挿入の場合、メッセージが表示されます。

アドバイス

- SDソースを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。
- iPodソースを使用するには本機にiPodを別売のiPod接続ケーブルで接続しておく必要があります。
☞ M–17

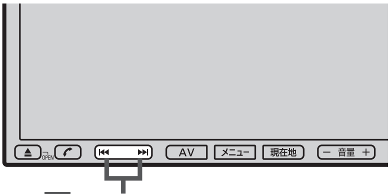
パネル部のボタンで選曲する

操作パネル上のボタンを押して１曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1 ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ (トラック*)を押す。

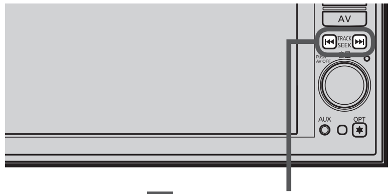
：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

MM312D-A／MM112-A



1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

MM312D-W／MM112-W



1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ を２回押す。

※１回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。CD／MP3／WMAのとき、トラック再生開始２秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ を押す。

アドバイス

- 画面をタッチして各ソースのトラックリストより選択することもできます。
  - ・CD／MP3／WMA／SD ☞ J–5
  - ・iPod ☞ M–4
- ＊印…Radio／TVソースでは選局と呼び名を変えています。
  - ・Radio ☞ K–4
  - ・TV ☞ N–16

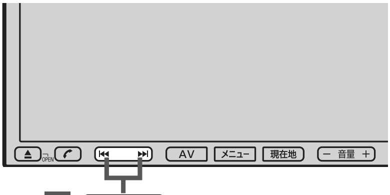
I-10 早戻し／早送りをする

1 **[⏮ ⏭]／[⏮] [⏭](トラック／スキップ)を 1.5 秒押す。**

：早戻し／早送りをします。

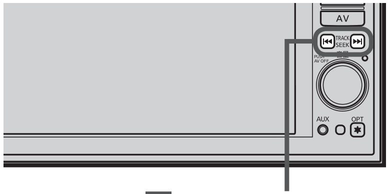
※それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

MM312D-A／MM112-A



1 [⏮ ⏭] ボタン(トラック)

MM312D-W／MM112-W



1 [⏮] [⏭] ボタン(トラック)

■ 早戻しで戻る場合

⏮ を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ を押し続ける。

再生状態表示
▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

音楽再生の場合(例)



アドバイス

Radio／TV ソースのときに押し続けると自動選局を開始します。
- Radio ☞ K-4
- TV ☞ N-16

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 **再生モード をタッチする。**

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

CDソース TOP画面(例)　＊



＊印…手順 **2** で選択した再生モードが
マーク表示されます。

2 **再生したいモード(リピート ／ ランダム ／ スキャン ／ シャッフル)を選択する。**

■ **リピート(繰り返し)再生する場合**

① **リピート をタッチする。**

：表示灯が点灯し、リピート再生されます。

※ リピート ボタンをタッチするごとに
下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード
の状態を表示

選択時点灯

CD／SD／iPodソースの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)
⬇
通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

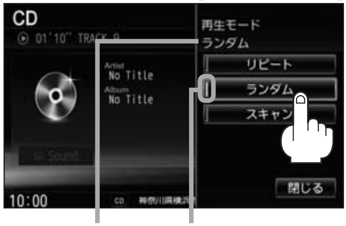
今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)
⬇
今聞いているフォルダのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT FOLDER マーク表示有)
⬇
通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム をタッチする。

：表示灯が点灯し、ランダム再生されます。

※ ランダム をタッチするごとに下記のように用途が変わります。



CDソースの場合

ディスク内の曲をランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき RANDOM マーク表示有)
⬇
通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき RANDOM マーク表示有)
⬇
通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

SDソースの場合

今聞いているリストの中からランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき RANDOM マーク表示有)
⬇
通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：表示灯が点灯し、曲の初め(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

CD／MP3／WMAモードの場合

ディスク内の曲をスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき SCAN マーク表示有)

⬇

通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

SDソースの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき SCAN マーク表示有)

⬇

通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※iPodソースのみ

① **シャッフル** をタッチする。

：表示灯が点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき SHUFFLE TRACK マーク表示有)

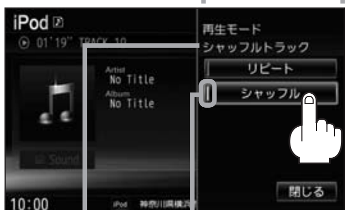
⬇

今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき SHUFFLE ALBUM マーク表示有)

⬇

通常再生(シャッフル解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

3 設定を終えるには、 閉じる をタッチする。

：選択中ソースのTOP画面に戻ります。

アドバイス

マーク表示中はそれぞれのモード再生を繰り返します。

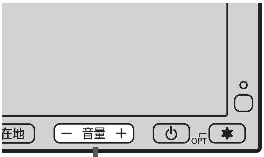
音量を調整する

1　［－ 音量 ＋］を押す／［音量］をまわす。

：画面に現在の音の大きさ（0～31）を示す音量表示が表示されます。
音量表示は約２秒間表示されます。

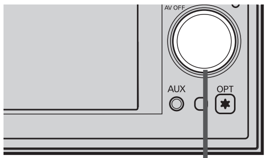
※押しつづけて／回しつづけて調整することもできます。

MM312D-A／MM112-A



［－ 音量 ＋］ボタン
＋側を押すと音量を上げます。
（大きくなります。）
－側を押すと音量を下げます。
（小さくなります。）

MM312D-W／MM112-W



［音量］ツマミ
右（時計）回りに回すと音量を上げます。
（大きくなります。）
左（反時計）回りに回すと音量を下げます。
（小さくなります。）

CDソース（例）



音量表示

アドバイス

- 音量は各ソースで個別に設定できます。
  ※Radioソースの場合は、FM／AMどちらかで設定した大きさとなります。
- ［✱］（オプション）に消音機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
  ☞「オプションボタンの設定をする」H–2

I-16 音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

今のソースの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各ソースの画面で、 現在地 を押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。





■ 今聞いているソースの画面に戻す場合

① AV を押す。

：今聞いているソースの画面に戻り、操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、 現在地 を押してください。





アドバイス

音量調整や ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのままで、画面を消す

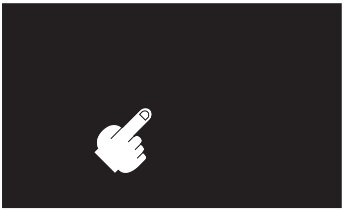
画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 **⏻ ／ PUSH AV OFF を２秒以上押す。**

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチする。



：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

※ ⏻ ／ PUSH AV OFF を押しても画面を表示させることができます。

映像の調整のしかた

明るさ／色の濃さ／コントラスト／色合いの調整やディスプレイ選択をすることができます。
※選択しているソースによって設定できる項目が異なります。
　走行中は調整できる項目が限られます。

アドバイス

- ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、TVソースの場合はフル固定となります。
- VTRソース画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。

1 メニュー を2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※映像を表示するソースの場合は下記手順 2 へ、音楽再生の場合は下記手順 3 へ進んでください。（TVソースの場合は下記手順 3 へ進んでください。）

2 画質調整 をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面（例）



iPodビデオ／VTRソース画面の場合に表示されます。
「■ ディスプレイ選択の場合 」I-20

3 調整したい項目（明るさ ／ コントラスト ／ 色の濃さ ／ 色合い）をタッチする。

アドバイス

音楽再生の場合、 明るさ ／ コントラスト の調整となります。



画質調整画面（例）
映像を表示するソースの場合



画面の明るさを切り替えることができます。

4 ◀／▶をタッチして値を調整する。

画質調整画面（例）



アドバイス

調整はタッチパネルの ◀ または ▶ をタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ（1～31）調整の場合

◀ をタッチすると暗くなり、▶ をタッチすると明るくなる。

アドバイス

車のライトをつけているとき（ON時）とライトを消しているとき（OFF時）とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト（1～31）調整の場合

◀ をタッチすると黒さが増し、▶ をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ（1～31）調整の場合

◀ をタッチすると淡くなり、▶ をタッチすると濃くなる。

■ 色合い（1～31）調整の場合

◀ をタッチすると赤が強くなり、▶ をタッチすると青が強くなる。

アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合 （iPodビデオ／VTRソース画面の場合）

手順 **1** （☞ I-18）で画面調整画面を表示する。
ノーマル／フル／ワイド／シネマの４つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面(例)



ノーマル	：４：３の映像の画面
フ　ル	：４：３の映像を左右に引き伸ばし、16：9にした画面
ワイド	：“フル”の違和感を少なくした画面
シネマ	：４：３の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRソースで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- TVソースの場合はフル固定となります。

5 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

画質調整を初期値に戻す

手順 **3** 、**4** （☞ I-18）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

1 画質調整画面で 初期値 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)



フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスや低音、高音の調整を調整することができます。

FADE：前または後ろスピーカー音量調整　／　BALANCE：左または右スピーカーの音量調整

BASS：低音域の調整　／　TREBLE：高音域の調整

※ AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1　**[メニュー] を押す。**

：MENU画面が表示されます。

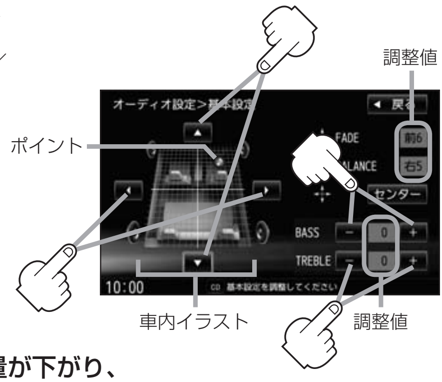
2　**[設定] ➡ [オーディオ設定] ➡ [基本設定] をタッチする。**

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



3　**調整したい項目(FADE／BALANCE／BASS／TREBLE)の [◀]／[▶]／[▼]／[▲] または [−]／[+] をタッチする。**

※FADEとBALANCEの場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。



■ **FADE(前９～後９)調整の場合**

[▼] をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
[▲] をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

■ **BALANCE(左９～右９)調整の場合**

[◀] をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
[▶] をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ **BASS(−５～＋５)調整の場合**

[−] をタッチすると低音が弱まり、[+] をタッチすると低音が強まる。

■ **TREBLE(−５～＋５)調整の場合**

[−] をタッチすると高音が弱まり、[+] をタッチすると高音が強まる。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

フェード・バランス設定画面（例）



- センター をタッチするとFADE／BALANCEの値が0になり、ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ ／ − ／ ＋ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。
- BASSの値を調整するとイコライザーのBand1（63 Hz）の値が、TREBLEの値を調整するとBand7（12.5 kHz）の値がそれぞれ変化します。
☞「イコライザー（音質）の設定をする」I-23

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※AV電源OFFの場合、イコライザーの設定をすることはできません。

1 メニュー を押す。

：MENU画面が表示されます。

2 設定 ➡ オーディオ設定 ➡ イコライザー をタッチする。

：イコライザー画面が表示されます。



3 お好みの音質の選択または値を設定する。

■ お好みの音質を選択する場合

① 設定したい音質(POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。
※さらにお好きな値に調整することもできます。☞ I-24

イコライザー画面



アドバイス

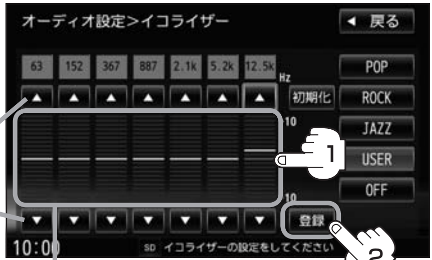
POP ／ ROCK ／ JAZZ の値は本機に既存の値が設定されています。 USER のイコライザーの値はOFF状態(±0)に設定されています。
※お好きな値に調整することもできます。☞ I-24

□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と ▲ ／ ▼ をタッチして調整する方法の２種類があります。

▲ ：レベルアップ
▼ ：レベルダウン



イコライザー
※イコライザーの ━ の部分が値(レベル)を表します。

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。

アドバイス

- Band1(63 Hz)の値を調整するとBASSの値が、Band7(12.5 kHz)の値を調整するとTREBLEの値がそれぞれ変化します。☞「フェード・バランスの調整をする」I-21
- 走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

- イコライザー画面で OFF をタッチすると音質効果なし(±０のフラット状態)となります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

オーディオ画面(CDソース画面(例))



マーク表示

各オーディオの音楽再生画面で Sound をタッチするとイコライザー画面を表示させることができます。

イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1 イコライザー画面で初期化したい音質（POP／ROCK／JAZZ／USER）をタッチする。

2 初期化 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



アドバイス

走行中、イコライザーの値を初期値に戻すことはできません。

サラウンドの設定をする

※AV電源OFFの場合、サラウンドの設定をすることはできません。

1

メニュー を押す。

：MENU画面が表示されます。

※サラウンドはLIVE／HALL／STADIUM／CHURCHの４種類です。

2

設定 ➡ オーディオ設定 ➡ サラウンド をタッチする。

：サラウンド設定画面が表示されます。



アドバイス

交通情報受信画面(K-8)の場合、サラウンド(臨場感)は得られません。(ボタンは選択できません。)

3

DSP をタッチし、お好みのサラウンド(LIVE ／ HALL ／ STADIUM ／ CHURCH)をタッチする。

：選択したサラウンド効果で再生されます。

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。

LIVE(ライブ)：サラウンドをライブハウスに設定します。

HALL(ホール)：サラウンドをコンサートホールに設定します。

STADIUM(スタジアム)：サラウンドをスタジアムに設定します。

CHURCH(チャーチ)：サラウンドを残響音の多い教会に設定します。

サラウンド設定画面(例)



アドバイス

- 2スピーカーではサラウンド効果は得られません。
- 表示されるイラストはサラウンドを表すためのイメージ図です。

サラウンド設定画面(例)



- サラウンド効果(臨場感)をやめたい場合は OFF をタッチしてください。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

CDソースTOP画面(例)



オーディオ画面では手順 **3** で選択したサラウンドが表示されます。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によって、オーディオの音量を自動で調整します。

1 メニュー を押す。

：MENU画面が表示されます。

2 設定 ➡ オーディオ設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。



3 設定したい連動音量(HIGH ／ MIDDLE ／ LOW)をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は
- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- LOW…小さい

となります。

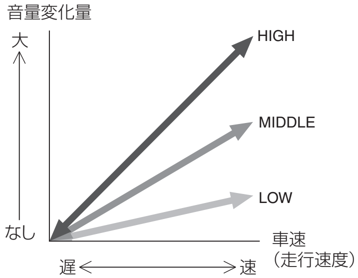
連動音量



連動音量を設定しない場合は OFF をタッチしてください。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げます。
  ※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
  すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。